

---

# 異世界と超能力者

光闇

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

異世界と超能力者

### 【Nコード】

N4982Z

### 【作者名】

光闇

### 【あらすじ】

時は平成三十×年。科学が進み世界が統一され連合国が生まれてから十数年。人類に超能力者が現れて数年。

軍事利用などから解放と自治を求む超能力者とその超能力者を利用し制圧を試みる連合国との戦いが泥沼と化していた。

そんなある時、連合軍所属“連合軍第七遊撃部隊”を率いている有馬 有紀の下に秘匿作戦を行うようにと命令された。

彼は命令に従いある農村に向かった。

彼と“連合軍第七遊撃部隊”の運命を変えると知らずに

## プロローグ

平成三十×年。科学が進み世界が統一され連合国が生まれてから十数年。人類に超能力者サイキッカーが現れて数年。

軍事利用などから解放と自治を求む超能力者とその超能力者を利用し制圧を試みる連合国との戦いが泥沼と化していた。

欧州などを中心とした独立戦争は独立軍の劣勢のまま時間が過ぎていった。

しかし、劣勢とはいえ超能力者は依然として強力な力を持っているため、一般兵などから見てみれば生身で戦車や軍用ヘリを次々と撃墜する独立軍の超能力者は畏怖の対象であり士気に大きく関わっていた。むろん連合国側の超能力者が出てくれば戦車などの兵器よりそちらを優先してくるのは連合国も分かっていたが、

『超能力者に対してまともに戦えるのは超能力者のみ』

と言う定説の為に攻撃させるほか無かった。

劣勢とはいえ欧州に展開している独立軍は負け戦ばかりではなかった。たびたび連合軍を圧倒していることもあった。

一番大きかったのが第三次欧州奪還作戦（連合軍が付けた作戦名）の時に、独立軍はゲリラ戦法を採用し連合軍は大きな被害を出し後退した。

そして、後退を開始したときに殿を担当したのが“連合軍第七遊撃部隊”だった。

“連合軍第七遊撃部隊”とは日本の所謂学生兵いわゆるであったが遊撃部隊に所属する全員が超能力者であり、武器は通常の銃器では無く遊撃部隊専用に配備された異形の武器だった。

隊長は有馬 有紀。若干二十歳ながら天才と言われその指揮は的確だった。そして、武器は大太刀と太刀の二刀流であり、敵味方から二刀の剣聖と言われ恐れられていた。

そして、“連合軍第七遊撃部隊”は第四次欧州奪還作戦へ参加し

た。

これはそんな彼の物語である。

## プロローグ（後書き）

この前予告した通りに消しました。

この小説は修正をしながら書くつもりなので行進は遅くなります。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4982z/>

---

異世界と超能力者

2011年12月16日22時52分発行